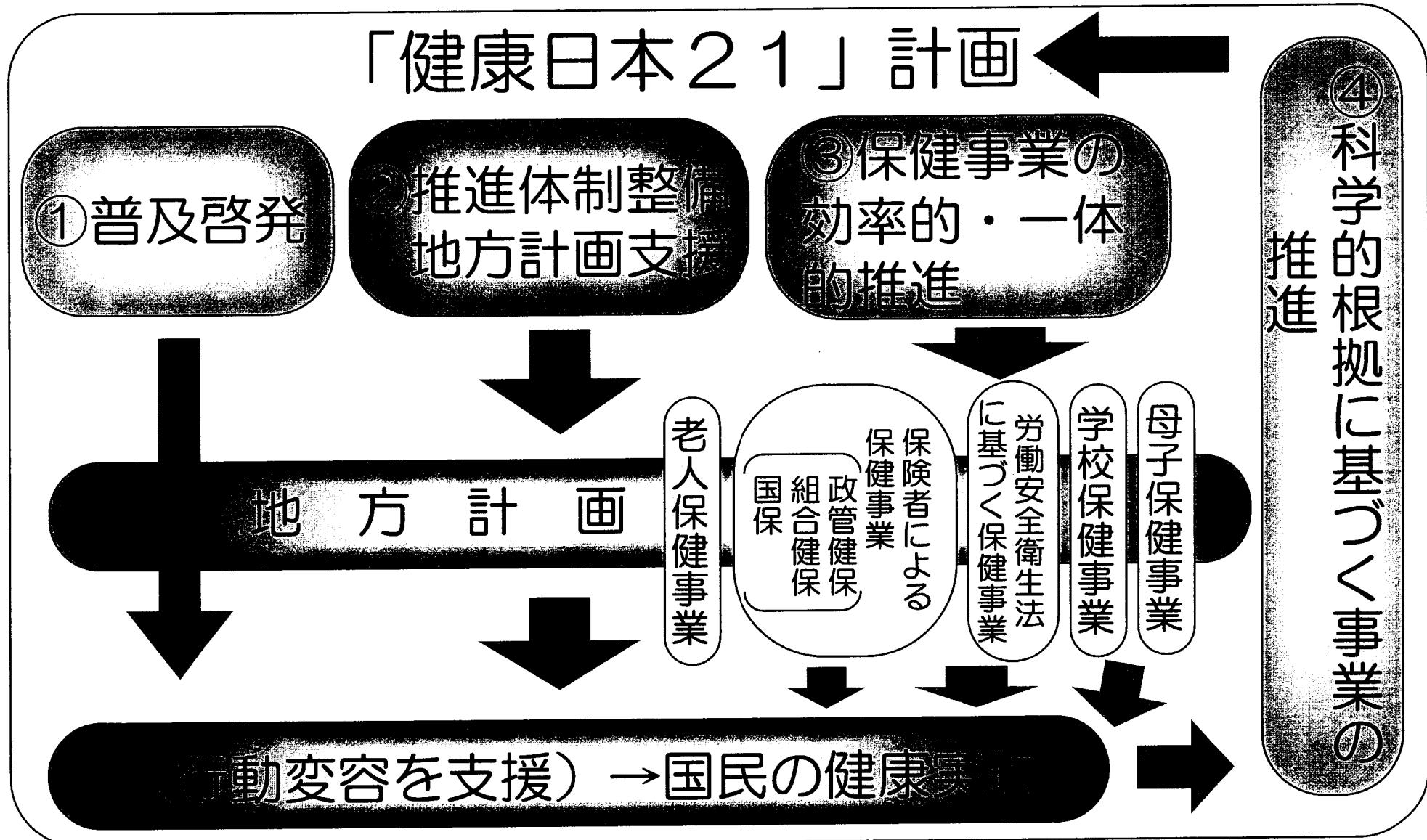


「健康日本21」の推進



21世紀の母子保健

2001年(平成13年)

「健やか親子21」スタート

我が国の母子保健には妊娠婦死亡や乳幼児の事故死亡など、世界最高水準に達しきれなかった課題や、思春期における健康問題、育児不安や児童虐待をはじめとする親子の心の問題があります。

そこで「健やか親子21」をつくりました。

「健やか親子21」は

21世紀の母子保健における取組の課題として目標(値)を示しました。

国民をはじめ、関係機関・団体が一体となって行う国民運動計画です。

関係機関・団体が「健やか親子21推進協議会」を設立し、運動を推進しています。

2003年(平成15年)

○次世代育成支援対策推進法成立

2005年(平成17年)より

「健やか親子21」をふまえた地域行動計画をスタートします。

2005年(平成17年)

「健やか親子21」中間評価・見直し
取り組みを評価し必要な見直しを行います。
「健やか親子21」のさらなる推進にむけて再スタート



2010年(平成22年)

「健やか親子21」目標達成!!

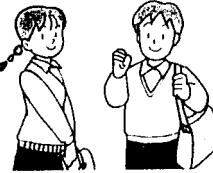
21世紀初頭における母子保健の国民運動計画

2001→2010年

課題

思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

親 応援期



子 思春期



十代の人工妊娠中絶実施率

12.1

※2000年 人口千对15歳以上
20歳未満の女子(44,477人)



減少傾向へ

妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援

親 妊産婦～
産じょく期



子 胎児期



妊娠婦死亡率

6.6 (78人)

※2000年 出生10万対



半減

小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

親 育児期



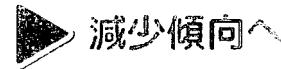
子 新生児期～
乳幼児期～
小児期



全出生数中の極低出生児の割合
全出生数中の低出生児の割合

極低出生児 0.7%
低出生児 8.6%

※2000年



減少傾向へ

子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

親 育児期



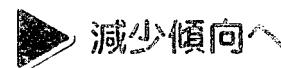
子 新生児期～
乳幼児期～
小児期



不慮の事故死亡率

44人

※2000年
児童虐待事件における
被害児童数



半減



100%

目標達成

虐待による死亡数

虐待による死亡数

44人

※2000年
児童虐待事件における
被害児童数



減少傾向へ

虐待による死亡数

44人

※2000年
児童虐待事件における
被害児童数

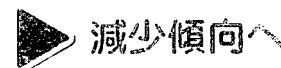


増加傾向へ

虐待による死亡数

44人

※2000年
児童虐待事件における
被害児童数



増加傾向へ

虐待による死亡数

44人

※2000年
児童虐待事件における
被害児童数



増加傾向へ

国 民(みんな)

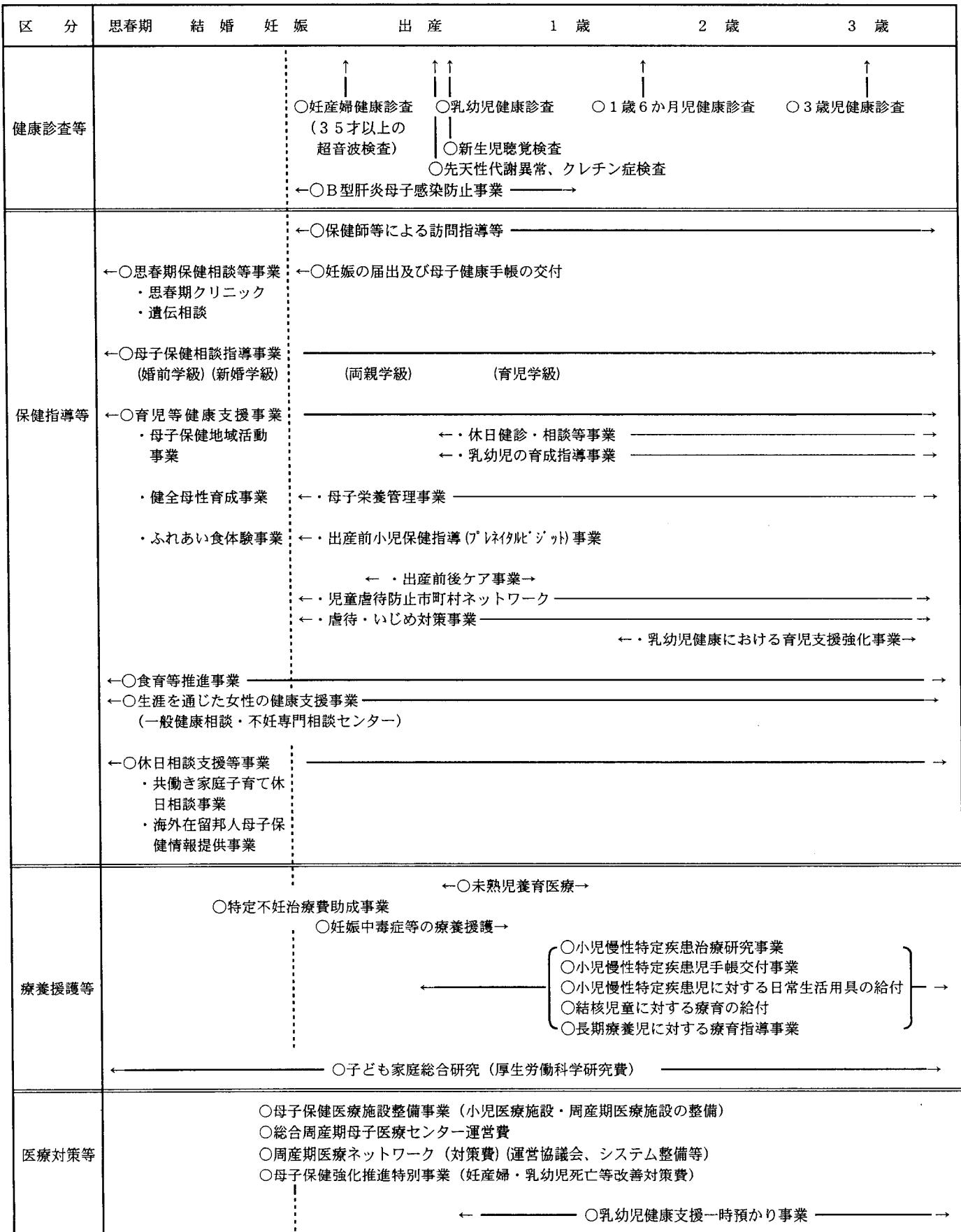
みんなの生きる力の向上と運動推進のための環境整備

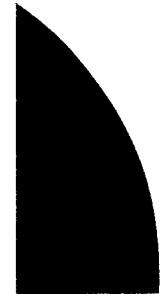
「健やか親子21」推進協議会(地方公共団体・専門団体・民間団体)

国(厚生労働省・文部科学省 等)
支援

2010年の目標

母子保健対策の体系





老人保健事業の見直しの基本的方向性

目標：「健康な65歳」から「活動的な85歳」へ
展開へ向けた基本的考え方

○

- ・ライフステージに応じた多様な事業（サービス）の展開
- ・根拠に基づく事業（サービス）の立案と評価
- ・ケアマネジメントの手法の導入をはじめとする個別対応の重視
- ・様々な事業者の参入と参画

老人保健事業の見直し後のイメージ

